

# ふれあいの発進



## 就任あいさつ

「地域で一番の施設を目指して」

事務長 西河 有造

この四月から、なんぐん館の事務長という大役を仰せつかりました。井手前事務長が、築かれた業績をさらに伸ばすよう、精一杯努力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私のなんぐん館の好きなところ、誇りに思うことが、三つあります。一つは、環境の素晴らしさです。

清掃の行き届いた館内と、よく手入れされた庭に囲まれた素晴らしい環境は、地域で一番です。また、見事な芝桜や、八角塔から見渡す御荘湾の眺めは格別です。

一つは、あいさつの励行です。毎朝のミーティングの際に、「おはようございます。」「ありがとうございます。」「失礼します。」「〇〇さんどうされましたか。」と全員で唱和します。

あいさつの励行は、地域で一番です。職員の気持ちの良いあいさつは、利用者への暖かい声かけにも通じるものがあります。また、あいさつは、社会生活の基本中の基本ですが、介護サービスの基本もあいさつに、やさしい声かけにあると思います。

一つは、明るく働きやすい職場です。職員にとって、明るく働きやすい職場は、地域で一番です。粉川施設長のお人柄で、明るく家庭的な雰囲気の中、働きやすい職場作りができています。

なんぐん館が、平成十年六月に、全国でも数少ない医師会立の老人保健施設として誕生してから、今年で十三年になります。

これからも、粉川施設長のもと、地域や家庭との結びつきを重視した、地域に開かれた施設として、さらに発展し、地域で二番ではない、地域で一番の施設を目指して、よりよい施設づくりに取り組んで参りたいと考えております。

皆様のご支援をどうかよろしくお願いいたします。

## 職員紹介



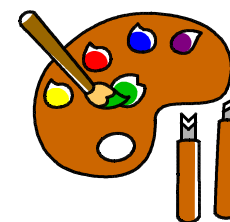
尾崎元明 介護職

血液型：O型

趣味：ドライブ、釣り、映画鑑賞

抱負：まだまだわからないこともたくさんありますが、利用者の方々に信頼して頂ける介護士になれるよう頑張ります。

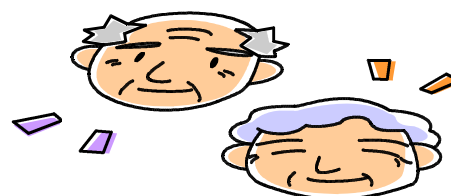
## 作品展示会



押し花の会 はなの詩 作品展

5/28～6/17の期間、なんぐん館内1階玄関ホールにて展示会を開催しております。ぜひご来場ください。

## 家族会



年2回の家族会のうち、1回目を4月22日に開催させて頂きました。今年度は【なんぐん館の取り組みについて】と題し、在宅復帰支援の事例を用いて紹介させて頂きました。どう死にたいか？亡くなる前はどのようにあげたいか？と死に方を考えた後、それに向かって【今をどう生きるか】を考え、伝えたいという思いからです。やがて誰しにも、平等で訪れる終末期に思いを寄せて考えるということは簡単なことではないと思います。残された人生、今をどう生きるかを考えた時の選択肢の一つとして、ご家族と共に考えていきました。

## 行事

6月 避難訓練  
7月 七夕



三月十一日の東北関東大震災により被災されました皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。一日でも早い復興と日常を取り戻せますよう祈念しております。なんぐん館内に設置した募金箱には合計¥84,482円の義援金が寄せられました。皆様からご協力頂きました義援金は全老人保健施設協会を通じて被災利用者や被災施設に役立てて頂きます。ご協力を頂きました皆様方のご支援、心より感謝申し上げます。

## 編集後記

社団法人 南宇和郡医師会  
老人保健施設  
なんぐん館  
南宇和郡愛南町御荘深泥703-2  
TEL (0895) 73-1021  
発行責任者 施設長 粉川 顯伸